

は地域別に整理せられつゝあり。先づ之を産業別組織の現
 状より視れば、金屬、化學の各工業を始め印刷出版業に建
 築業に交通運輸に礦山に至る各種重要産業全般に亘ると共
 に、大企業に中小企業に且つ自由労働者の各層に至る迄普
 ねく及びつゝあり。而して之を地域別に觀察すれば、八幡
 を中心とする北九州工場地帯と飯塚直方兩市を中心とする
 筑豊炭山地方と海上労働方面は門司、若松兩港を中心は何
 れにも活潑なる運動を展開してゐるのである。

〇、主なる組合運動

福岡地方に於ける本〳〵年中の組合運動に就て既述の外主な
 る事項を列挙すれば次の通である。

(1)製鐵所官民合同反對運動—本件は當時既に詳細報告した
 るところにして、日本製鐵労働組合聯合會、官業労働同志

會、職夫労働組合並に社大黨八幡支部を中心に舊社民黨系
 団体一致の反對運動と他方舊大衆黨系労働団体並に國社黨
 団体との三派が夫々の立場より反對闘争を敢行し流石に九
 州地方労働運動の中心地たる實力を示し全國の耳目を衝動
 せしめ勞の趣くところ一時罷業の懼れさへあつたのである
 が、幸に當局の理解ある労働対策と一方反對運動の中心勞
 力たる舊社民黨系団体の自重とに依り既得労働條件確保の
 下に約三ヶ月に亘る本運動も無事解決することが出来たの
 である。

(2)第十七回國際労働總會労働代表顧問推薦運動—官業労働
 同志會に於ては大正十四年中田末三郎（主事）昭和五年濱
 衛文作（執行委員長）の兩氏を夫々國際労働會議労働代表
 顧問として選出したのであるが、本年は鐵聯合會長今岡與市